

やちよ下議会だより

第 52 号

平成22年5月 (2010年)

●発 行 市 議 市議会だより ゃ 編 集 委 員 会

●所在地 八千代市大和田新田312-5 ●電 話 (047) 483-1151 (市役所代表)

平成22年度予算案・

条例の制定案など

置されました。

3 月 8 日

からの4日間

25議案、

10発議案を可決、

2陳情を採択

<u>1</u>

一成

22年3月

第

回定例会

市の花 「バラ」

◆平成22年度の重点施策(抜粋)

重 点

妊婦健康診査に対する14回の公費負担

施 策 の 概

(新規)第3次障害者計画(計画期間:平成23~27年度)の策定

四市複合事務組合が建設する第2斎場の整備推進

市民会館耐震補強及び大規模改修工事の実施設計

(新規) 勝田台駅南口の(仮称)勝田台南白転車駐車場の整備

[新規]一般廃棄物処理基本計画、震災廃棄物処理基本計画の策定

(新規)循環型社会形成推進地域計画、施設の長寿命化計画の策定

京成電鉄(株)が行う勝田台駅のエレベーター整備に対する助成

都市計画道路3•4•1号新木戸上高野原線、3•4•6号八千代台花輪線、

西八千代北部特定土地区画整理事業の推進(事業費一部負担)

市民活動団体支援金交付制度(1パーセント支援制度)の実施

[新規]村上地区における(仮称)多文化交流センターの整備

〔新規〕第4次総合計画(計画期間:平成23~32年度)の策定

八千代台東地区の集会施設整備、上高野地区の集会施設改修に対する補助

[新規]次期総合計画と連動した(仮称)新行政改革大綱・推進計画の策定

3-4-12号八千代台南勝田台線、8-7-2号西八千代向山線の建設推進

新川を核とした都市再生整備計画に掲げた道路や橋梁の補修•改築の推進ほガ

(新規)東消防署の移転・改築に向けた用地取得

地域団体の防犯灯の設置・維持管理に対する補助

谷津・里山の保全地域の選定、保全計画の策定

東葉高速鉄道(株)への経営支援(出資及び利子補給)

東葉高速鉄道(株)が行う八千代緑が丘駅のエレベーター

路上喫煙禁止区域の指定、指導員の配置

[新規] 総合グラウンド整備の実施設計

(新規)勝田台中央公園再整備の実施設計

高津小鳥の森、八千代台北子供の森の用地取得

中小企業者に対する利子補給、保証料補給等

短期雇用、就業機会の創出

やちよふれあいの農業の郷を核とした総合的な整備

八千代ふるさと親子祭、八千代どーんと祭に対する補助

グループホーム等を建設する社会福祉法人等に対する建設費補助

東京女子医科大学八千代医療センターの整備事業、救急医療事業等に対する助成

(新規) 西八千代北部・勝田台地区の民間保育園新設、村上地区の民間保育園増築に対する補助

(新規)地域密着型サービス公的介護施設等を設置する民間事業者に対する助成

小・中学校屋内運動場等の耐震補強工事、八千代台東小学校屋内運動場の改築

〔新規〕第2次生涯学習基本構想、生涯学習推進計画(計画期間:平成23~27年度)の策定

第65回国民体育大会(女子バスケットボール、ウエイトリフティング競技会)の開催

災害に対する総合的対策(防災行政用無線設備、防災倉庫、災害用井戸の設備等)

[新規] やちよ男女共同参画プラン(計画期間:平成23~32年度)の策定

(新規) 中学校修了前までの子どもを養育する人に月額13,000円の子ども手当支給 3,920,506

事 業

母子保健事業

めざして 健康福祉都

地域医療対策事業

民間保育園運営事業

子ども手当支給事業

地域密着型施設事業

小学校施設整備事業

中学校施設整備事業

生涯学習振興事業

スポーツ振興事業

防犯対策事業

環境保全活動事業

男女共同参画推進事業

市民会館リニューアル整備事業

災害対策施設整備等事業

消防庁舎及び消防署等整備事業

路上喫煙防止等対策事業

廃棄物処理企画調整事業

焼却炉施設管理事業

公共交通対策事業

道路橋梁補修事業

都市公園建設事業

市街地整備推進事業

中小企業資金融資事業

市民活動支援事業

地域集会施設事業

企画政策調整事業

行財政改革推進事業

運営管理事業

緊急雇用創出事業臨時特例基金事業

(仮称)多文化交流センター

県立八千代広域公園建設事業

街路建設事業

道路改良事業

緑地保全事業

を産農業の郷整備事業

産業政策事業

東葉高速鉄道支援事業

放置自転車・自動車対策事業

環境衛生事務事業

障害者援護事業

(単位:千円) 事業費

475,000

169.018

286,84

4,200

4,200

74,100

18,765

566,239

216,708

80,000

215

◆市長提出議案等内訳	
平成22年度予算案	8件
平成21年度補正予算案	6件
条例の制定案	2件
条例の一部改正案	6件
協議案	1件
財産の取得案	1件
訴えの提起	1件
計	25件

陳情の審査が行る

われました。

付

日 市

。(回

指摘・要望事項

ました。 常任委員会と文教安全常任委員会が5日に、議会運営委員会が16委員会は、総務常任委員会と福祉常任委員会が4日に、産業都 質問に11名の計17名が、 に、また、予算審査特別委員会が8~11日に、それぞれ開催され

般質問は、

1~3日の3日間で行われ、

代表質問に6名、

個別

る主な指摘・要望事項です(要以下は、執行機関に対す

ルを改修し、複数 ▽学校プー

の学校での

用など使用方法

の検討を

・ボランテ

八員確保を

き1人配置するよう増員を

ル…1つのプー

政全般について質問しました。

平成22年八千代市議会第1回定例会は、

2月24日から3月24日までの29日間の日程で開催され

企業会計予算案は、原案のと

▽普通学級の特

別支援教育

支援員(現在8名)

·1校につ

た一般会計、5特別会計、 わたる審査の結果、付託され

2

おり可決すべきものと決定

しました。

情2件を採択、 般質問等は

44,520 30,276 2 面に、 議 案等の 概 要と 決結果は

4 面

掲

62,390 42,000 6,298 31.897 5,679 6,800 9,345 737,745 36,333 75,400 323.022 436,749 125,375 50,000 30,000 249.055 744,000 246,550

載

12,800

323,862

193,882

5,433

10,194

4,970

7,534

318

-整備に対する助成

市長から平成22年度予算案、 このほかに陳情10件、発議案(議員提出議案)20件が審議され が提出され、 審議の結果、 発議案10件を可決し、 すべて原案のとおり可決されました。 条例の制定案など議案25件 閉会しました。

追 ∇

国勢調査…調査員の確保

いて万全の対策を

効率化により徴収率の確保処分の強化及び滞納事務の▽個人市民税の徴収…滞納 ▽戸 ▽父子家庭に対する児童扶養 ∇ イア等早めに必要し 国民体育大会·

業…コンビニで 手当支給…滞りな ービスの検討を 交付を含め、効 , 籍住民基本台帳管理事 率的な市民 く支給を 住民票等

(集中的・一体的に審査するた 22年度当初予算案につい 、予算審査特別委員会が設 定例会において、 亚 手当の抑制を ▽孤独死対応…警 段の振り替える場員の時間は え 外 勤務手当… などにより

第 1

回

る説明や意見交換 等の理解を得るた ∇ 実態の把握を 第2斎場整 祭と連携し、 の場を め、さらな 周辺住民

> ▽農業ボランティア…受け 活用して積極的に周知を

普通救命講習会…市民に

歩行喫煙の指導を

広報紙以外の方法も

署との協力体制を十分に路上喫煙防止等対策…警

 ∇ 能な限り早期に特定健康診▽短期人間ドック助成…可 の塗装ボランティアと連携 緊急保証制度の周知徹底を フティネット保証の景気対応 入れ農家を増やし、PRを 中小企業資金融資…セー 画的な遊具の整備等を 都市公園管理…児童遊具

…学校等の災害用井戸から 査の受診券の送付を ▽災害時応急給水用機材整備 した方に対する制度の創設を など、給付を受けない努力を ∇ 汲み上げが必要となる 介護予防…保険料の軽

受けるため、 ▽八千代1号幹線の環境整備 の市と連携し、 …高津川の上流からの影響を の際の訓練実施を ため、各学校と連携して使 引き続き上流 環境整備を 用

1

予算審查特別委員会



同同同同同同同同同同同 員

緑松堀原塚武正江植石嵐秋奥 菅 、委員はな 本田田端田 哲 富 芙 敏 芳 美 美 三 恵 江 進 雄 隆 亮 智 50 文 知 利 秀 明 弘 路 哲 音 男 子 志 明

■E-mailアドレス gikai1@city.yachiyo.chiba.jp

予算審査特別委員会

副委員長

委

員

長

委

個別質問 ■武田哲三議員

市民クラブ

業▽○

業時数増加▽外国語教育>法改正に関連した対応▽經

授

②なぜ歳費を削減しないのか。
②なぜ歳費を削減しないのか。
③福祉タクシー券の復活を。
③ 福祉タクシー券の復活を。
の期間と考えている。(市)
②歳費に含まれる市長交際費は大幅に削減してきた。(市)
③ 総合的に判断し廃止したので、復活の考えはない。(健)

2、勝田台駅南口に
エレベーターを設置せよ
交通バリアフリー法では、 乗降客一日5千人以上、高低
差5メートル以上の駅には平成22年度までにエレベーター 施22年度までにエレベーター を設置するよう指導している。 勝田台駅北口には平成22年度、エスカレーター脇にエレベーター協にエレベーター協にエレベーター協にエレーターが設置される。京成

●会派別議員名簿 (現員32名)

風 (9名)

会 派 名

公 明 党(6名)

市民クラブ (6名)

日本共産党(4名)

新政八千代(2名)

ひ ろ ば(2名)

和 の 会 (1名)

莱 (2名)

診る

日本共産党

新

■成田 忠志議員 (質問事項)

平成22年度予算について
①国の予算編成について
②国と地方の経済見通しを問う。
③「地域主権」と「税源移譲
について、を関係、決算見込みと予算について、対政計画の詳細を問う。
市は、厳しい経済情勢のもと、税収不足によりやむを得ちに水道会計の留保金等を決ちに水道会計の留保金等を決ちに水道会計の留保金等をけ入れて一般会計50名財政の健全が、さらなる財政の保金等を対入れて一般会計50名財政の健全の新規事業と来年度からの第4期実施計画での今年度の新規事業と来年度からの第4期実施計画での今年度の新規事業と来年度からの第4期実施計画での今年度の新規事業と来年度からの第5ぎに満ちた都市 八千代市総合計画について問う。

「快適な生活環境とやすらぎに満ちた都市 八千代」を目指していただきたい。

■ 菅野文男議員 (質問事項)

「図書業の規程:・国・県の規程と改正内容、判断基準と改正内容、判断基準と改正内容、判断基準と改正内容、判断基準と改正内容、判断基準と改正内容、判断基準に上、事業数・内容の歴史、基本計画と普及・市下水道とはの歴史、基本計画と普及・市下水道とはの歴史、基本計画と普及・一方と経過、現在の普及率とがと経過、現在の普及率とが、工業地域内等の居住者への対応

会派のスペースは所属議員数に応じて割り当てられたものです。

創

•

時代をリードする会派の議会活動

安望。一時預かり

平和教育の充実を図ることを確認。平和市長会議への加盟を表明したことを確認。 **委員会質問 予算審査特別委員会質疑 予算審査特別委員会質疑**

· 推進

・投票所のバリアフリー推進 ・第2斎場の事業費内容 ・国体開催にボランティアは ・市民会館の改装練習室設置 ・公民館まつりとサークル活動 ・公民館まつりとサークル活動 ・対キ大将の森の運営と今後 ・市子供会育成への補助金 ・陸連絡所人員増と施設改善 ・関芸用廃プラ処理対策事業 ・農業ボランティアの推進 ・県営ほ場整備事業の進捗

平和都市宣言と関連事業 平和教育の充実を図ることを 平和教育の充実を図ることを で表明したことを確認。

代表質問

明

■木下 映実 議員

まちづくり 第4次総合計画の基本理 高として、自助・共助・公助 のバランスのとれた、協働型 のバランスのとれた、協働型 のバランスのとれた、協働型 のバランスのとれた、協働型

図 協働型福祉社会は、自 図 協働型福祉社会は、自 図 協働型福祉社会は、自 の立場で連携した新たな社会 において、互いが対等 の立場で連携した新たな社会 の立場で連携した新たな社会 の立場で連携した新たな社会 の立場で連携した新たな社会 の立場で連携した新たな社会 の立場で連携した新たな社会 の立場で連携した新たな社会 を目指すことを基本として いる点において、目指す方向 を目指すことを基本として がる実質的な負担について を方法)について を方法)について を方法)について を方法)について を方法)について が域密着施設事業 地域密着施設事業 の(仮称)社会資本整備計画 の(仮称)社会資本整備計画 の(仮称)社会資本整備計画 の(仮称)社会資本整備計画 の(仮称)社会資本整備計画 の(ののう年度計画と財源である国 の(ののう で地域密着を設置する民間事業 と地域や事業者等について

ろば

■ 秋葉 就一議員 同 市道米本下高野 同 少しでも早い空 でも早いでも早い空 でも早いでも早い空 でも早いでも早い空 でも早い空 期予定 野線の

問 第4次総合計画 進するために、また 進するために、また 民会議を設置すべき

2 第4次総合計画の策定に当たりましては、策定基本方針に基づく各種フォーラムやがブリックコメントの実施、がブリックコメントの実施、立びに公募による市民委員を含む総合計画審議会において、市民意見の反映を行うこととしています。 (総) 間 第4次総合計画を策定する中で、地域区分についてはる中で、地域区分についてはる中で、地域区分についてはる中で、地域区分についてはあり、コミュニティー地域の見直しを図っていくべきと考えます。

(きと考えた)を積極的に地震をできる。

和 の 会

レベーターを上下線とも設置するが、南口改札の外には、エレベーターも、下りエスカレーターも設置しないと表明している。しかし、南口は東葉線への出入り口で、北口への連絡通路、村上地域の子どもの勝田台小学校への通学路でもあり、エレベーターの設備が、大力にもエレベーターを設置しないと言っている。よう京成電鉄と協議したい。をするよう京成電鉄と協議したい。をするよう京成電鉄と協議したい。の連絡通路、村上地域の子どもの勝田台小学校への通学路でもエレベーターを利用できるよう、張り紙をするよう。現立に表明と記述してほしい。をするよう要望してほしい。をするよう要望してほしい。をするよう要望してほしい。をするよう要望してほしい。をするようの意間されば、乗車運賃が下がります。そもそも、地方自治体が企業経営をすることは避けるべきであります。今後に向けてきるよう。今後に向けてきであります。今後に向けてきるが、乗車運賃が下がります。 所属 議員 氏名

石井 敏雄 菅野 文男 田久保 良 塚本 路明 成田 忠志 西村 幸吉 林 利彦 皆川 知子 ◎江端芙美江 菊田多佳子 木下 映実 坂本 安 正田富美恵 緑川 利行 ◎横山 博美 秋山 亮 嵐 芳隆 江野澤隆之 武田 哲三 茂呂 剛 ◎小林惠美子 植田 進 遠藤 淳 堀口 明子 ◎横田 誠三 奥山 智 ◎原 弘志 秋葉 就一 ◎松井 秀雄 伊東 幹雄 谷敷 時子

平成22年3月24日現在

■ 小林 惠美子 議員 1、市長は公約を守れ 1、市長は公約を守れ 豊田市長は、8年前の市長 の歳費の大幅削減」「市長は 原則2期まで」「福祉を削ら が財政再建を」を公約にして が財政再建を」を公約にして は削減せず、市の総合計画に ない生涯学習プラザを突然建 はした。弱い立場の人に痛み を押しつけ、自らの給与は削減しないとは、市民への裏切り行為である。公約を守り、 直ちにできることから実行す 「腐務残高」▽運営状況(事業 「病残高)▽運営状況(事業 「内容)▽解散に向けた今後の 内容)▽解散に向けた今後の

四グラムの内容は。 四グラムの内容は。 四グラムの内容は。 一の対ラムの内容は。 一の対ラムの内容は。 一の対理期は人間形成の基礎が培われる極めて重要な時期が培われる極めて重要な時期が培われる極めて重要な時期を通しているとが重要です。また、幼児一人一人の望ましい発達を促しているとが重要と考えていま産を通して豊かな子育ち子育でを通して豊かな子育ち子育でを通して豊かな子育ち子育でを通して豊かな子育ち子育でを通して豊かな子育ち子育でを通して豊かな子育ち子育でなの支援が継続的に行われることが重要と考えています。この基本的考え方に基づき市の幼児教育の本方針に基づき市の幼児教育の下集」、「家庭や地域社の整備をもりが、「家庭や地域社の整備をもりが、「家庭や地域社のを開展と小学校の連携」、「家庭や地域社会の整備をおり、「家庭や地域社会の整備をおり、「家庭や地域社会のを持ず、その基本方針に基づき市の幼児教育の大きでの表表する。」(市)で、「本)で、「本)で、「本)で、「本)であることを踏まえ、地域社会のを通りであることを踏まえ、地域社会のを通りであることを踏まえ、地域社会のを通りであることを踏まえ、地域社会のを通りであることが重要と対している。

季員会質問予算審査特別委員会質疑
予算審査特別委員会質疑
● 秋山 亮 議員 (質問事項)
▽地域人権啓発活動活性化事業 ▽最終処分場遮水シートの安全対策 ▽市内の消火栓・の安全対策 ▽市内の消火栓・の安全対策 ▽市内の消火栓・の安全対策 ▽市内の設置状況 ▽市税の徴収率の確保 ▽メンタルヘルス不調の職員増加ンタルヘルス不調の職員増加ンタルヘルス不調の職員増加ンタルへの検討 ▽戸籍住民課窓口の依日開庁に伴う経費と今後のお状況 ▽商業活性化推進事業の補助金減額

学級閉鎖に伴う ○新型インフェ 他の質問事項

法▽子

■ 松井 秀雄 議員
「東葉高速線
3300億円の債務」
「東葉高速線
すが、平成28年度で支援していますが、平成28年度で支援していますが、平成28年度で支援が終れてどう考えていますか。
位での資金ショートが発生しない見込みです。現行のような支援は必要ないものと想定しています。
しています。
位でいます。
位でいますか。
「総)では、109年度時点の仮定値では、109年度時点の仮定値では、平成29年度時点でしていまうか。

代表質問■奥山智議員(質問事項)

| 大きなで植えた千本桜。古村合併と八千代の歴史 新川桜と八千代の歴史 新川桜に八千代の語り。老樹は町桜応援団と千本桜の会の活動が応援団と千本桜の音の記念

新政八千代

事故状况

くり トワーク (質問事項) 法とはマ 況理の 地域 議会用語解説 会派…議会内に結成される、 会派…議会内に結成される、 である。会派は原則として複 がである。会派間の協議の場と である。会派間の協議の場と して、代表者会議などが設け して、代表者会議などが設け られる。 八千代市議会では、会派の 所属人数によって、議会運営 所属人数によって、議会運営 所属人数によって、議会運営 がれる。

らや営の

月要都 会 覧 館 会前後に作成予定)。 このページでは、会派の議会 の会議等の会議録は、図書 本会議等の会議録は、図書 本会議等の会議録は、図書 を可能会ホームページでご を可能を市議会ホームページでご を可能をでは、会派の議会

個別質問

けと件複り同

8%増)とする。

■議案第2号

予算総額を

度比36億5400万円、7・

502億6300万円(前年

億4503万3千円(前年度

万2千円とする。

支出の補正において、資本的

時間外勤務手当引上げ分の支

■議案第22号

組合立国保成

■陳情第2号

核兵器廃絶に

O)

■議案第17号

月60時間超の

給に代わる措置として「時間

境衛生組合の解散に伴い、組東病院及び鴨川市南房総市環

労働基準法の

合を組織する地

方公共団体の

数の減少及び組合規約の変更

に関する協議をするに当たり、

議会の議決を求

める。

円増額する。資本的収入及び 水道事業費用を848万3千 事業収益を84万9千円減額、

> る。 に伴い、

収入を2億840万3千円減

■議案第1号

予算総額を

〔議案	・発議第	W]平成22年第1回定例会	້,22	年	3月	24	日	(発	議	案第	第32	2号	は3月3日
			**	各	会	派	の	賛	否	i Ize	**	_	
			新	公	毘	上本	新政	O	木	和	賛成	区	
番	号	件名		明	2	共	갚	ろ		の	成	対	議決結果
			風	党	ブ	党	代	ば	来	슾	数	数	
		l					(2)						
議案	第1号	平成22年度八千代市一般会計予算 組替え									5 24		原案可決
詳安	第2号										24 26		原案可決
		平成22年度八千代市国民健康保険事業特別会計予算 平成22年度八千代市老人保健特別会計予算									31		原案可決
	第4号	平成22年度八千代市名八保健初州岳市了异									27		
		平成22年度八千代市墓地事業特別会計予算									31		原案可決
議案	第6号	平成22年度八千代市後期高齢者医療特別会計予算									24		
議案	第7号	平成22年度八千代市水道事業会計予算									24		
議案	第8号	平成22年度八千代市公共下水道事業会計予算									26		
	第9号	平成21年度八千代市一般会計補正予算(第3号)									26		
	第10号	平成21年度八千代市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)									26		
	第11号	平成21年度八千代市墓地事業特別会計補正予算(第1号)									31		
	第12号	平成21年度八千代市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)									26		原案可決
	第13号	平成21年度八千代市水道事業会計補正予算(第2号)									27		
		八千代市営霊園の設置及び管理に関する条例の制定について									31		原案可決
戒条 5	第15号	八千代市営霊園基金条例の制定について									31		原案可決
議案第	第16号	児童福祉法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	原案可決
議案第	第17号	八千代市職員の勤務時間に関する条例の一部を改正する条例の 制定について	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	原案可決
議案第	第18号	八千代市一般職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の 制定について	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	原案可決
議案第	第19号	八千代市入札契約適正化委員会条例の一部を改正する条例の制 定について	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	原案可決
議案第	第20号	八千代都市計画事業大和田駅南地区土地区画整理事業の施行に 関する条例の一部を改正する条例の制定について	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	原案可決
議案第	第21号	八千代市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	0	0	0	×	0	X	0	0	25	6	原案可決
	第22号	千葉県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少 及び千葉県市町村総合事務組合規約の一部を改正する規約の制 定に関する協議について	Г								31		原案可決
議案第	第23号	財産の取得について(八千代市立みどりが丘小学校校舎,屋内運動場及びブール)	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	原案可決
議安告	至9.4是	訴えの提起について						\cap			31	0	原案可決
	第25号	平成21年度八千代市一般会計補正予算(第4号)									31		
	第32号	議長の不信任決議について											原案否決
	第1号	非核三原則の法制化を求める意見書について									31		
	第2号	UR賃貸住宅居住者の住居の安定を求める意見書について									31		
発議案	第3号	改正貸金業法の早期完全施行等を求める意見書について	Ō	Ō	Ō	Ō	O	Ō	Ō	Ō	31	0	原案可決
発議案	第4号	社会的セーフティネットの拡充に関する意見書について	0	0	0	O	0	0	0	0	31	0	原案可決
発議案	第5号	政治資金規正法の制裁強化を求める意見書について									27		原案可決
発議案	第6号	子ども手当の全額国庫負担を求める意見書について									27		原案可決
		子ども読書活動を推進するための予算確保を求める意見書について											原案可決
		介護保険制度の抜本的な基盤整備を求める意見書について									31		
	第9号		0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	
発議案	第10号	公立学校耐震化予算の増額を求める意見書について	0	0	0	0	0	0	0	0	31	0	原案可決
発議案	第11号	国が責任を果たし、支払い能力に見合った国保料に引き下げる ことを求める意見書について	×	×	×	0	×	0	×	0	7	24	原案否決
発議案	第12号	後期高齢者医療制度を速やかに廃止することを求める意見書に ついて	×	×	×	0	0	0	Δ 1	0	10	21	原案否決
発議案	第13号	現行の保育制度を守ることを求める意見書について	X	X	X	0	0	0	X	0	9	22	原案否決
発議案	第14号	直面する生活保護行政の改善を求める意見書について											原案否決
発議案	第15号	子どもの医療費助成制度の創設等を求める意見書について									9		
発議案	第16号	消費税増税に反対する意見書について	X	X	×	O	×	0	×	0	7	24	原案否決
発議案	第17号	日米FTA(自由貿易協定)交渉に反対し、日本の農業を守るよう 求める意見書について	×	×	×	0	×	0	×	0	7	24	原案否決
発議案	第18号	最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・ 強化を求める意見書について	△ 6	×	×	0	×	0	0	0	15	16	原案否決
発議案	第19号	四恩福祉会「高津西保育園」の運営に関する「調査特別委員会」の 設置に関する件について	×	×	×	0	×	0	×	0	7	23	原案否決

 \bigcirc

%「各会派の賛否」については、 \bigcirc は賛成、imesは反対、 \triangle は会派内で賛否が分かれました。 Δ の下の数字は賛成者の数です。 発議案第32号については、議長が除斥対象となり、副議長が議長の職を行いました。 発議案第19号については、新風において不在議員が1名いました。

〔陳情〕平成2	22年第1回定例会 議	決日:平成22年	3月24日
番号	件名	議 決 結	果
陳情第1号	平成12年6月19日に貴議会において採択された「定住外国人の地方参政権の 確立に関する意見書」の破棄決議を求める件	賛成者少数	不採択
陳情第2号	非核三原則の法制化を求める議会決議・意見書を求める件	賛成者全員	採択
陳情第3号	永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の決議を求める件	賛成者少数	不採択
陳情第4号	憲法違反の外国人参政権による選挙を実施しないことを再確認する件	賛成者少数	不採択
陳情第5号	暮らし支える行政サービス・人員の拡充を求める件	賛成者少数	不採択
陳情第6号	公契約条例の制定を求める件	賛成者少数	不採択
陳情第7号	最低賃金法の抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める作	賛成者少数	不採択
陳情第8号	給食センター建設計画を見直し、自校方式の拡充を求める件	賛成者少数	不採択
陳情第9号	UR賃貸住宅(旧公団住宅)居住者の住居の安定を求める意見書採択を求める件	賛成者全員	採択
陣情第10号	八千代市議会の「議会活性化検討会」の傍聴を求める件	替成者小粉	不採択

※市当局に対する請願・陳情が採択された場合は、次の定例会で処理の経過及び結果が報告されます。

∇ 8 ∫ 11 ▽ 2 日 創出と新卒者支援を図ること ■発議案第9号 若者の雇用 正法の改正を求める。 策と生活保護制度の円滑な実 震化予算の補正予算での対応 ■発議案第10号 を求める。 ■発議案第8号 書活動を推進するための十分 ■発議案第7号 子どもの読 の全額国庫負担を強く求める。 を含め、増額を強く求める。 度の抜本的基盤整備を求める。 な予算確保を求める。 ■発議案第6号 子ども手当 ■発議案第5号 政治資金規 施を求める。 6月定例会日程予定 日 一般質問 開会・提案説明 公立学校耐 介護保険制

件名については、 覧をご覧ください。 議決結果一 ■議案第5号

設建設の完了に伴い前年度比 億4852万7千円 (墓地施 30・7%減)とする。 ■議案第6号 予算総額を13 予算総額を4

収益33億8582万9千円、 **■**議案第7号 比8・5%増)とする。 水道事業費用31億564万 び支出の予定額を、水道事業 収益的収入及

減額し、 加し、総額を172億720 ぞれ7億530万1千円を追 42万円とする。

ぞれ1億4230万2千円を ■議案第11号 8万円とする。 総額を5億488万 歳入歳出それ

霊園」

を設置し、

設置・管理

比0・3%増)とする。 億5895万6千円(前年度

び支出の予定額を、下水道事 ■議案第8号 収益的収入及 前年度比4・7%減)とする。

による診療費等清算分のみ。

15億3334万2千円、資 支出の予定額を、資本的収入 7千円とし、資本的収入及び

本的支出46億9863万6千

■議案第4号 予算総額を66

年度比5・2%増)とする。

170億7016万5千円(前

40万9千円(老人保健制度 ■議案第3号 予算総額を2

> 円、下水道事業費用28億32業収益28億5020万3千 的収入6億5908万8千 43万4千円とし、資本的収 円、資本的支出16億1516 入及び支出の予定額を、資本

> > び支出の補正において、水道

の一部を改正する法律の施行

関係2条例を改正す

千円とする。

■議案第13号

収益的収入及

■議案第16号

児童福祉法等

ぞれ4038万4千円を追加

園の円滑な運営管理を図るた

■議案第15号 将来の市営霊 に関し、必要な事項を定める。

め、「八千代市営霊園基金」を設

総額を12億8961万6

■議案第12号 歳入歳出それ

2千円とする。

■議案第10号 歳入歳出それ ぞれ4億9990万6千円を ■議案第9号 歳入歳出それ 総額を490億88

5万5千円減額する。

ぞれ1006万5千円を追加 ■議案第25号 歳入歳出それ 万5千円とする。 総額を490億9848

■議案第14号 例

資本的支出を5億186 「八千代市営 時間を超える時間外勤務手当 外勤務代休時間」を新設する。 一部改正に伴い、1カ月に60 ■議案第18号

する事項を、入札契約適正化 行う入札及び契約の手続に関 ■議案第19号 事業管理者が 支給割合の改定(100分の 委員会の調査審議対象とする。 50に引上げ)等をする。

どりが丘小学校 法人都市再生機 3万8550円 動場及びプール **■議案第23号** を22億979 校舎、屋内運 八千代市立み 構千葉地 独立行政

題解決に向け、 け、意見書を提出する。 情第2号、第9号の採択を受 の早期完全実施を求める。 ■発議案第3号 多重債務問 を失った者に対する総合支援 ■発議案第4号 雇用と住居 改正貸金業法 陳

●発議案第1号、第2号可決された の提出を求める。

の居住の安定のための意見書 求める意見書の提出を求める。向け、非核三原則の法制化を **■陳情第9号** UR賃貸住宅 非核三原則の法制化を

国民健康保険 正等に伴い、 転等をする。

分離課税等が創 料の算定に適用 上場株式等の配当所得の申告 する。 設され、保険

併せ、事務所の移 **■議案第20号** 区土地区画整理事業の進捗に ■議案第21号 法施行令の一部改

大和田駅南地

支社から取得する。

実施した焼却処理施設建設工 る遅延損害金を請求する損害 **■議案第24号** 平成10 8539万円及びこれに対す が被った損害について、5億 事入札における談合により市

請願・陳情 賠償請求の訴えを提起する。

■やちよ市議会だよりは再生紙を使用しています。

▽ 15 · 16 日

各常任委員会

総括審議・閉会